



台元寺 奇報

発行所 天台宗和光山持廣院 台元寺・佐野百観音

発行人 第33世住職 井上純道

第14号

平成27年 新縁発行

題字 第32世名誉住職 権大僧正 晃 純 書

〒327-0806 栃木県佐野市犬伏上町1892

電話 0283-23-0141

FAX 0283-21-0254

E-mail: taigenji@sctv.jp

URL <http://www.taigenji.com>



天台宗総本山 延暦寺 国宝根本中堂大改修

天台宗では祖師先徳鑽仰大法会(第2期)として、平成28年に「伝教大師誕生1250年」「恵心僧都1000年御遠忌」、翌29年には「相応和尚1100年御遠忌」を迎える事になりました。その執行に伴い、凡そ50億円の浄財を投じ、天台宗は根本中堂の大改修を決断致しました。

ご報告

- ・ 1月 1日(木) 佐野百観音御寶前に於いて、大晦日夜24時より新春初護摩祈願厳修
- ・ 1月27日(火) 栃木教区会議に参加: ホテルニューイタヤ(宇都宮市)
- ・ 1月30日(金)～31日(土) 名誉住職の義姉 井上千里通夜及び葬儀を執行
- ・ 2月 3日(金) 節分会: 佐野百観音
- ・ 2月11日(水) 正宗寺住職井上瑛雄師本葬儀に参列: 正宗寺(益子町)
- ・ 2月14日(土) 佐野部部内会: 丹波屋
- ・ 2月22日(日)～24日(火) 教師研修会: 大正大学(豊島区)
- ・ 3月16日(月) 栃木教区内局会議に参加: 月蔵寺(日光市)
- ・ 3月18日(水)～24日(火) 春彼岸会、先祖供養と墓参
- ・ 3月21日(土) 春彼岸会法助: 岩船山高勝寺
- ・ 3月27日(金) 佐野市仏教会理事会に参加: 普門院
- ・ 4月 2日(火) 栃木県仏教青年会会計監査: 台元寺
- ・ 4月 8日(水)～9日(金) 惣宗寺第40世住職御母堂柴田洋子通夜及び葬儀に出仕: 惣宗寺
- ・ 4月14日(火) 佐野市仏教会会計研修会: 一向寺(浄土宗: 佐野市堀米町)
- ・ 4月15日(水) 佐野部寺庭婦人会総会: 丹波屋
- ・ 4月17日(金) 惣宗寺第39世住職自叙伝出版記念祝会: 惣宗寺、サンルート佐野
- ・ 4月23日(金) 栃木教区会計監査: 月蔵寺(日光市)



ちょっと気になる『話題の1枚』

毎週月曜夜7時からテレビ朝日にて「ぶっちゃけ寺」を放送中。意外と知らないお坊さんや、仏教の秘密を各宗派のお坊さんがぶっちゃけるといふ番組。その中で天台宗僧侶として出演しているのが、露の団姫(つゆのまるこ)師。1986年生。上方落語協会所属の落語家、天台宗の尼僧。兵庫県尼崎市在住。日本酒の利き酒師の資格も持つ。2011年、天台宗で得度。2012年、比叡山行院で四度加行を受け天台僧となる。年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し全国を奔走する異色の落語家。是非、テレビを観てみては・・・。



◎今後の予定

- ・4月23日(木) 栃木県仏教青年会総会:ホテル丸治(宇都宮市)
- ・5月 中旬 平成26年度会計監査。監事2名 住職立会にて:台元寺
- ・5月10日(日) 第16回役員総代会:台元寺
- ・5月11日(月)～12日(火) 東日本仏教青年会野球大会
- ・5月17日(日) ペット供養式法助:ペットセレモニー佐野
- ・5月21日(木) 栃木教区議員協議会:月蔵寺(日光市)
- ・5月26日(火)～28日(木) 教師研修会:岡山コンベンションセンター(岡山市)
- ・5月27日(木) 栃木教区定例会議:月蔵寺(日光市)
- ・6月 6日(土) 施餓鬼会法要法助:惣宗寺
- ・6月 6日(土) 山家会法要並びに佐野部部内会:
- ・6月 中旬 栃木教区檀信徒総会:月蔵寺(日光市)

仏教用語 『冗談』じょうだん

ふざけた言葉やチョツとしたユーモアある話の事を冗談といいます。冗談を言う人は明るくて、楽しい人だという印象をもたれるようですが、仏教語では「冗」には無駄、不要、余計という意味があり、仏道修行の妨げとなる不要な話を「冗談」と言いました。そこから「無駄話」「暇つぶしの話」という意味になりました。楽しく笑いながら話す「笑談」が転じた説や「雑談」が「ぞうだん」と読まれ変化したという説もあります。

【編集後記】先日、来賓として佐野北中、犬伏小の入学式に出席させて頂きました。犬伏小の新1年生には「6年間たくさんの思い出を作ってくれたい」と挨拶をしました。小生も思い出せば35年前、大きなランドセルを背負い校門をくぐった事を思い出します。母校の校歌を歌うと懐かしく、涙腺が緩くなる年頃・・・僧侶として、親として、PTA会長として「子どもたちの明るい豊かな未来の実現の為に」子どもたちの応援団となり精進したいと、改めて誓う日でした。 合掌

年回法要 ご先祖様のご供養を忘れずに・・・。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1周忌 平成26年(2014年)亡 | 3回忌 平成25年(2013年)亡 |
| 7回忌 平成21年(2009年)亡 | 13回忌 平成15年(2003年)亡 |
| 17回忌 平成11年(1999年)亡 | 23回忌 平成5年(1993年)亡 |
| 27回忌 昭64・平元年(1989年)亡 | 33回忌 昭和58年(1983年)亡 |

【境内の花木】



『椿』つばき

日本や中国を原産とし、万葉の時代から日本人に愛されてきたツバキ。ヨーロッパに渡ったのは18世紀。東洋的で端正な美しさに「日本のバラ」という賛辞が捧げられます。19世紀には小デュマの原作小説に基づき書かれたオペラ「椿姫」にも主人公の女性を象徴する花として登場します。

花名のツバキの由来は、葉が丈夫なことから「強葉木(つばき)」が転じた、つやのある葉から「艶葉木(つやはき)」が転じたなど、諸説あります。ツバキ全般の花言葉は、「控えめな優しさ」「誇り」です。